

放送番組審議会 議事録

【平成 26 年度 第 2 回 放送番組審議会】

日時	平成 27 年 3 月 25 日 (水) 午後 3 時 30 分から
場所	大町市総合情報センター テレビ会議室
出席者 審議会委員 事務局	勝野賢一、川上洋、田中けさ子、北澤愛子、平林操、大日方三郎 大厩市郎、飯嶋大治、小林悠、大日方寿二
欠席委員	伊藤彰一、傘木覚

報告事項

(委員からの意見等)

- 「ダビング 10」、「コピーガード」について説明願う。
- RPMを導入して、業者からの問い合わせや苦情は無かったか。
- コピーガードとは、初めから付いているものか。
- DVDに写し、それをブルーレイに戻して焼き直しとかできると聞いているが、コピーガードがかかっているならばそれはできないということか。これはその付随としてついてくるものか。
- 以前も話があって、世界標準なので必要だと思う。
- ダビング 10 とは、商品名か。

(事務局から)

- ダビング 10 とは、ブルーレイレコーダーの場合、地上波についてはコピーを 10 回まで可能、10 枚ダビングすると元のデータが消去される仕組みである。これは民放、NHKでは既に導入されており、CATVでは今回導入した。コピーガードとは、ダビングしたブルーレイをコピーができなくなる仕組みである。
- RPMに対する特に苦情やトラブル等はない。他局で制作した番組をCATVで使っている部分もあり、RPM装置が無い場合は、番組を使わせていただけない状況になってきている。著作権に対する意識の変化が大きいといった背景から仕組みを構築した状況である。
- コピーガードはRPMに付随しているものである。
- 今回、一番標準的ということでダビング 10 を採用しているが、もっと厳しい所はコピーアットワンス、1 回限りという制約がかかっているところもある。
- ダビング 10 とは、規格名である。

審議事項

(委員からの意見等)

- 現地へ行き撮影し、それを収録し放送できるようにするところまで全部そっくり委託となるということか。
- 費用的に比較するとどうなるか。
- きらりステーションとかも外部で撮影し、外部で編集となるのか。ここの施設はどうするか。

- チェック等はするの。
- 企画、シナリオ、撮影は全て業者で行って、制作したものについて決済的な部分を市で行うということか。
- アウトソーシングし、委託することで経費が7,000千円近い節約ということですが、最終的にはパソコン教室、施設管理についてもそういう感じになるのか。
- 先行きは指定管理制度に移行するようになるか。受信料は個人から市へ納入、番組はそっくり委託という形で、指定管理となれば、加入者を増やそうという時にどういう影響が出てくるか。新規加入の宣伝が指定管理に任せたととなり、加入者が少なくなっていくようでは営業にならないことも考えられるので、そこら辺の兼ね合いを考えてもらいたい。
- 民間から移った時、市の行政に関すること等もっと踏み込んで放送していくのかと期待を持っていたが、民間会社へ委託した場合、距離が置かれるのではないかと懸念ある。それとは別に市が行政的にどう組んでどのような成果を上げているか踏み込んで放送してもらえればと思う。
- 現在の加入状況は。
- 世帯数の3割くらいか。
- 25%以上あれば頑張っていると思うが、地区別ではどうか。
- 高齢世帯で死亡とか、転出による減か。
- 有料でメリット、デメリットある。メリットをいかにアピールするかになる。今、インターネットのウェブで何でも利用されているのでリークできればいいと思う。この続きはケーブルでいうように続けていければ良いと思う。
- これからはインターネットを使わなくてはならなくなるので、また別途に考えたらいい。
- これは、単純な減か。それとも何か理由があるのか。
- ケーブルテレビに加入してくださいといってもケーブルテレビの無い家ではビラしか届かない。ケーブルテレビを見ている人にはやめないでという放送はできるが、見ていない家に宣伝するには広告しかない。大町市の文化祭や人の集まる機会がある時にケーブルテレビでどういう放送をしているかモニターテレビをいくつか置いて見てもらう機会を作ればどうかと思うが。
- 放送できる機会は限られているので、ふれあい広場、文化祭等人が大勢集まる時にいくつかモニターおいて流せば良いと思う。
- 高齢者、障害者等の世帯が増えていると思うが、価格的に差別化することはできないか。
- 卒業式、入学式は放送するか。
- 最近、番組自体があか抜けてきたと思う。

(事務局から)

- 最終確認は市でも行うが、番組の編集まで全て業者へ委託する。
- 直営で行うと25,000千円強、委託した場合は17,000千円と見込んでいる。
- 委託でセンターにカメラ、編集機等あり、この施設を使用して行う予定である。
- (全部委託) そうである。
- 市も立ち会って番組のチェックをする予定である。
- 発注先の合同会社グリーンはテレビ番組の経験はあるが、市のCATVの番組に関しては単発

の特別番組の受注だけで、きらりステーションの制作に関しては経験がない。当面の間は委託先もわかっていない部分もあるので、CATV係が中心となり企画を構成し、打合せを行いながら取材にあたっていく予定である。

最終チェックも勿論であるが、30分の枠はこれまでどおり継続する。週刊ニュース、市からのお知らせ、情報コンシェルジュ等様々なコーナーについては委託先がメインとなるが、それら全体の取りまとめについては、しばらくの間、確認を含め市でも行う。

- この施設ができた当初はCATVを想定していなかったため、CATVのヘッドエンド機器と市の各種サーバー類が同じ部屋に収まっている。他市のCATVでは指定管理制度の導入が増えているが、当市では全面的な指定管理制度への移行は課題とさせていただき、当面の間は番組制作委託ということで進めたい。
- 決して料金だけ収入し投げてしまう発想ではない。白馬村では発足時から指定管理制度を導入し、料金は指定管理者が全て収入し、その中で運営をしていると聞いている。加入者拡大がCATVに課せられた宿題と考えている。今回の番組委託については、それとは違う側面を持ち合わせており、番組制作は特別な知識、経験、技能を有する業務であるが、市職員は概ね3年から4年程度で人事異動があり、同じ職場だけで経験を積み上げるのは難しい現状である。そういったことを含め少し委託範囲の拡大と考えている。いずれにしても、加入者拡大は最重要課題であり、様々な方策を講じて参る。
- 番組制作は外部委託に出すが、市も企画、編集に携わり、新たに民間の発想が入ることで、これまで以上に違った方向からの番組制作もできると考えている。市の行事等についてはこれまでどおりCATVで放送予定であり、4月からの番組内容の変更は想定してない。発注先が安定した番組制作可能となれば、発注先の意見も取入れた番組制作も可能となるが、平成27年度前半はこれまでと同様の番組編成予定である。
- 加入者数の状況は、2月末現在、加入世帯3,159件。去年3月末3,164件である。26.何%くらいになる。旧大町市地区内で2,156世帯、八坂、美麻地区内で810世帯である。
- 単身世帯で死亡脱退が多い。新たな加入は県外から来る方が多い状況ではあるが、新規加入者増は厳しい状況である。
- 民間でいろいろな取り組みしているが、きらりステーションを例にとると冒頭1分30分だけユーチューブにし、続きはご加入くださいという切り口ができればよいが、インターネット環境のあるご家庭限定になってしまう。
- 加入者数については、新規加入65、脱退70でトータルではマイナス5という厳しい状況である。開局以来毎年この様な状態で、市全体の人口減少とリンクしている部分もあるかと思う。世帯数は人口と違い世帯分離されている部分もあり、統計上の面では一概には比例してないが、ゆるやかな人口の減少とともにCATVの加入者数も少しずつ落ちている状況である。
- 脱退時の理由では、高齢化単身世帯で亡くなり空き家となる場合が多い。定住促進で空き家再利用を行っているが、単身高齢世帯の場合は、トイレが水洗化されてない、家自体が老朽化で相当な改修費がかかる等空き家利活用が進んでないと聞いている。八坂地区では空き家売買も数件あり順調に加入頂けているが、それ例外で減が続いている。
- ふれあい広場で毎年行っている。去年は生中継と重なりできなかったが、実際に放送を流してPRしている。やまびこ等でも余裕のある時だけになるが、テレビを置いて中継を行

っている年もある。

- 公共施設では、市役所ロビー、情報センターロビーで自主放送チャンネルを1日中流しているが、今後、それらに加えてイベント時等の対応を工夫したい。
- 基本はNHKの減免と同様となるが、難視聴地域については減免対象である。減免率は5割、10割となり、約220世帯で減免となっている。
- 入学式等は例年どおり行う予定である。

番組視聴・感想等

(委員からの意見等)

- 料理教室等は頼めば取材に来てもらえるか。どこにお願いすればよいか。
- 急にイベント等の取材をお願いした場合に対応してもらえるか。
- 八坂の大滝は、仁科神明宮から始まっていると思うが1月に1回放送か。ナレーションに元気がないので、もう少しメリハリをつけられないか。
- 特集みたいに、まとめて放送したらよいと思う。
- 番組表は新聞に入っているか。
- 以前、番組表の配布をお願いしたら費用的なことで駄目だと言われた。費用はかかってもCATVでこんな番組をしているとお知らせする必要性ある。大町と一緒にいる前は届いていた。
- 市の広報と一緒にいう程度でよいが、番組表は毎週、広報は月1なので回覧板と一緒に回せばよい。
- 正直そんなの見てないというところもあると思う。
- リモコンボタンでの確認はできるか。その日だけか。
- 前にもお願いしたが、番組内容を入れてもらえないか。
- 放送している番組を選ぶと番組内容が出るものである。番組情報である。全然入っていない。ある程度の内容、あらすじを入れてほしい。文字数では無く、番組紹介について何も入っていない。それを入れてもらえばいい。
- 番組情報はいつ頃から入れたか。
- 字幕で絵が白、文字が白だと見づらい。決まりで文字色等を決めているか。
- 字幕が白から緑に変わったことがあるが。
- 広報おおまの紹介があつたが、紙のスキャンと、画面を作った部分があり、画面を作ったほうが見易いので、画面を作ったほうがいい。画面を作ってもらったほうが字も大きくなり見やすくなると思う。
- 平成27年度は加入促進をマスタープランとしてどのように考えているか。
- 11月22日の地震は普通のTVを見ても大町の状況は解らなかった。CATVを見て状況が解った。今後このような災害があつた場合もお願いしたい。被害はどうであつたか。

(事務局から)

- 取材は、なるべく行けるよう調整するが、イベント等が重なると難しい。連絡はケーブルテレビ係、広報広聴係でよい。取材スタッフの関係もあり急すぎる場合には難しい。

- 放送は不定期である。ナレーションは素人が行っておりご理解賜りたい。
- 番組表の新聞掲載は、大糸タイムス、信濃毎日新聞に掲載ある。この番組表は市役所、情報センター、ホームページでご覧いただける。また、テレビ自体の番組表でご覧いただける。
- 番組表の配布は、八坂、美麻地区は難視聴地区で限りなく100に近い加入で、全戸配布でも意見等は無かったが、旧大町は2割程度の所もある。八坂、美麻は自治会の文書と一緒に配っていたと思うが、未加入者が多い状況では、加入してないのに役員を使って配らなければいけないのかとのお叱りを受ける可能性がある。新聞折込みとなると1回20数万円かかると思われる。
- 配布対象者が限られる状況である。
- いろいろな難しさがあるのでご理解いただきたい。
- 番組表は、リモコンの番組表で確認できる。1週間分確認できる。
- 番組内容は入れているが、当市の機械では対応できない機械がある。原因をメーカー等に確認しているが不明である。
- データ放送か。番組情報は入れているが、当市の機械では制限がある。前回は話をしたが、文字数の制限がある。
- 番組紹介機能が当市の機械にない。番組表に補足する程度で行っているが、メーカー、テレビによって表示されない。既に入力しているが、メーカー、テレビによって表示されないことがある。
- 番組情報は開局当初から入れている。
- 担当それぞれの好みもあるが、ご高齢の方にも見易いようにと話している。見づらい場合にはマットを入れる、縁を少し太くする等の工夫をしているが、番組を通して色が変わると見にくい。同じ色合いに統一する中では、後ろがいろいろな色になり見にくい場面もあるが、見やすい色で統一している。
- ニュースの場合は、基本しゃべり言葉は黄色、普通字幕は白と統一しているが、先ほどの八坂の大滝等各担当により、春に合わせて緑色にしたものはある。
- 番組を見ても申込みできないので、広報に何を書いているかダイジェストで教えてほしいという話があり、広報の紙面をなるべく使う部分もあるし、ダイジェストで抜き出して書く部分と今年度から行っている取組みで試行錯誤が続いている。今後、改善していきたい。
- 市内の半数以上が加入して頂けるようにしたいが、地デジが普及した中で課金するCATVへの新規加入は厳しい状況である。
- 今回は災害発生後、即取材して放送した。発災直後は夜間で、放送設備等の確認ができなかったため、翌朝から美麻を中心に確認した。放送に支障となるような被害は無かった。今後についても、テレビ松本さんで臨災局の許可を受けているので、協力し災害情報等を放送できるようにしたいと考えている。